



飛騨っ子

令和3年7月20日 発行 NO4
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 : 水口 悟
TEL : 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail : mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



広がれ 家族みんなの笑顔！

◇ 令和3年度 家庭教育学級等リーダー研修会のまとめ

今年度、白川村は訪問型の研修会、飛騨市・下呂市・高山市は書面による研修会とし実施いたしました。たくさんのアンケートが届けられました。ありがとうございました。関係者の皆さんが資料を手に取り、改めて「家庭教育（学級）」の実態や実践について見つめ、動き出そうとしている様子が伝わってきました。是非とも、アイデア豊かに楽しみながら取組を進めましょう！

テーマ

「在宅取組型」家庭教育学級の実践に学ぶ
～ 広がれ 家族みんなの笑顔！ ～



書面研修によるアンケートの回答率

- ◇ 全体 78%
- 飛騨市 84%
- 下呂市 80%
- 高山市 76%
- 白川村訪問開催

<成果>

- 家庭教育推進（学級運営）に対し、高い意識をもっていることがわかります。
- 家庭教育学級の意味や5つの型についての理解が深まっています。
- 他地域の在宅取組型の実践例を活かして取組もうとしています。

<課題>

- 取組の計画・実践・評価サイクルを大切にすること。

Q1 岐阜県の家庭教育の現状や課題について、参考になりましたか？

(研修資料 P1～10(動画あり))

ア よくわかる 69% イ だいたいわかる 31% ウ わからない 0

Q2 家庭教育学級の意味や5つの型について、参考になりましたか？

(研修資料 表紙・P5～6 (動画あり))

ア よくわかる 75% イ だいたいわかる 25% ウ わからない 0

Q3 在宅取組型家庭教育学級（話そう！語ろう！わが家の約束運動）のよさについて、参考になりましたか？

(研修資料 P14～15)

ア よくわかる 69% イ だいたいわかる 31% ウ わからない 0

Q4 各地域の在宅取組型家庭教育学級の実践例は、参考になりましたか？

(研修資料 P16～21)

ア よくわかる 74% イ だいたいわかる 26% ウ わからない 0

Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級において、お気づきの点がありましたらお書きください。どんなことでも結構です。

回答の中で、記述があったもの 75% … 随時 通信【飛騨っ子】に掲載



飛騨地区(3市1村)家庭教育学級リーダー等研修会 研修資料アンケートより 3

(各地域・立場から、たくさんのご意見をいただきました。感謝申し上げます)

Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級について、お気づきの点があればお書きください。どんなことでも結構です。

子どものことで悩んでいない親はいないと思うので、もう少し親同士の意見交換などができる場があるといいです。(小学校 保護者)



今年度より、従来の母親委員会の名称を「家庭教育委員会」に改称した。PTAの活動目標である「早寝・早起き・朝ごはん」より、夏休みを利用して‘わが家の簡単朝ごはんレシピ’を呼びかけるなど、親子のふれあいを大切に活動を展開している。(小学校 職員)

昨年はよい評価をいただきありがとうございました。委員の方々も今後の取組への自信につながったようです。園としてもありがたく思います。今年度もアイデアを出し合い、新たなことに挑戦されています。難しく考え過ぎず、今の状況だからこそできること、必要なことを考え、親子で楽しみながら…というところがポイントのようです。楽しみです。(保育園 職員)



保護者会活動の中で、保育園でのしつけを期待していることが多く、楽しむ行事の中から保護者会として保護者一人一人が家庭教育を学べるような活動に今後していけたら。。と思いました。(保育園 保護者)

わが家も子どもが小さいときによく児童センターに行き、他のお母さんや先生と悩み相談や話をし安心することができました。小・中のPTA懇談会などでも他のお子さんの様子や悩みなどを聞くことで、少しでも悩みを解消することができるようになります。コロナ禍で、そういう場がなかなかないことも不安ですし、家庭内での取組にはやはり限界があるように思います。また、そういう場に参加する家庭は同じようなメンバーであるのが現状のような気がします。今回いただいた資料を参考に、家での生活を子どもと一緒に見直せたらと思います。(中学校 保護者)



数年続いているカードをその年の子に合わせてながら作り変え使用しています。家庭の方の反応も、「初めのうちは毎日続かなかったことも、卒園までにはできるようになった」など、とてもよい声も聞こえてきました。今年度も続けていこうと思います。(保育園 職員)